

## 第2回仙台市音楽ホール検討懇話会

### 次第2-(1) 前回の議論を踏まえた論点整理について

#### 資料1

##### 2-(1) 前回の議論を踏まえた論点整理について

##### 1. 第1回懇話会の議論の項目整理と要点 ⇒ 資料1

参考資料1 第1回仙台市音楽ホール検討懇話会 議事要旨

参考資料2 仙台及び東北各市の将来人口動向について

参考資料3 兵庫県立芸術文化センター 阪神淡路大震災からの復興のシンボル

参考資料4 水戸市：新市民会館 まち活性化を整備目標とした市民会館整備

参考資料5 川崎市：ミュージアム川崎シンフォニーホールと音楽のまちづくり

## ■前回の議論を踏まえた論点整理について

### 1. 第1回懇話会の議論の項目整理と要点

整理項目	意見の要点
<b>1. 検討の前提として踏まえるべき点</b>	
(1) 近年のホール施設等の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術は全ての人々が享受し、参加するもの</li> <li>・新しい広場としての役割への期待</li> <li>・まちのなかで多様な人々が集い、交流する場</li> <li>・市民のまちに対する意識を変革させる拠点</li> </ul>
(2) 伸ばしていくべき仙台の文化特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽が盛んであり、暮らしに息づくまち</li> <li>・市民の主体的な音楽活動は非常に盛んで、誇れるもの</li> </ul>
(3) 解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何十年と全国大会が開けない状態である</li> <li>・大型のホール、設備や諸施設が充実したホールがない</li> <li>・仙台は人を呼び込む施設が不足している</li> </ul>
(4) 特に取組むべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災復興過程において文化芸術が果たした役割を継承・発展するべき</li> </ul>
(5) 将来の都市の状況の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化の進展と、グローバルな視点も持つ必要</li> <li>・世界に向けて開かれた場となる</li> <li>・地方都市間競争の激化への対応</li> </ul>
<b>2. 音楽ホールの目的・使命のあり方</b>	
(1) 基本的な設置目的、ねらいの明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の方向性を踏まえつつも仙台としての方向性を明確にする</li> <li>・街の魅力を高めることなど目的を明確にする</li> </ul>
(2) 持続可能な仕組みの計画と構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続性のために、市民にどのような貢献ができるのかを明確にする必要</li> <li>・目的、運営、継続性、発展性、人材などの課題を検討することが重要</li> <li>・公演や活動の無いときに何をするのかを大事</li> </ul>
<b>3. 施設空間のあり方</b>	
<b>(1) 音楽ホール施設のあり方</b>	
①ホールについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何よりもホールとして優れた施設であることが重要</li> <li>・音響が良いホールは他に沢山あり、それに勝るホール</li> <li>・いろいろなジャンルの公演を可能にするホール</li> <li>・多様な音楽や舞台芸術など幅広い活動を支えるホールが望まれている</li> <li>・多様な音楽を支える、新しいタイプのホールが期待される</li> <li>・誰もが身近に、気軽に利用できるホール</li> </ul>
②施設全体として	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちに開かれ、回遊性を高める施設</li> <li>・ホールだけではなく、交流の拠点となる施設</li> <li>・豊かな時間を過ごせる施設</li> </ul>

整理項目	意見の要点
左下からのつづき	
<b>(2) 施設とまちとの関わりのあり方</b>	
①経済的波及効果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北の拠点となり、集客力のある施設</li> <li>・経済的効果の高い施設</li> </ul>
②観光・コンベンションとの連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンション機能を担う施設</li> <li>・観光の視点から検討する必要</li> <li>・広域からの観光客の誘引などを計画的に組み込む必要</li> </ul>
<b>(3) 仙台の施設ならではのあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の力をまちづくりに活かす場</li> <li>・音楽の持つ力がホールからも溢れ出すような場</li> <li>・世界に誇れる仙台らしいホール</li> </ul>
<b>(4) 整備計画のあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の知恵や技術を活かして整備、運営を</li> <li>・10年もかからずに、早期整備ができないか</li> <li>・市と県との連携の検討</li> </ul>
<b>4. 活動・運営のあり方</b>	
<b>(1) 音楽、舞台芸術など実演芸術の振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような文化芸術活動をしていくのかの計画が必要</li> <li>・楽都を音楽だけではなくより広い楽として考えられないか</li> <li>・文化芸術の認識が広がってきていることを踏まえる必要</li> </ul>
<b>(2) 音楽ホールを核としたまちづくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術振興とまちづくりの2つの観点がある</li> <li>・音楽ホールはまちづくりの手段</li> <li>・まちづくりは懇話会で議論すべき大きな課題</li> </ul>
<b>(3) 復興過程で果たした文化芸術の力の発展</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術が果たしてきた役割、その情熱をこの施設に込めていくべき</li> </ul>
<b>(4) 開館までの期間のあり方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館までの10年近い期間をどのように過ごすかを計画することが重要</li> <li>・開館までの10年で、マネジメントしていく人材を育成することが重要</li> </ul>
<b>5. 懇話会の役割について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の理解を得ながら、着実な議論を踏まえ進めていく</li> <li>・議論の輪を広げて、市民の期待に応えていく</li> </ul>